

1. 実況上の着目点

- ① 前線が東シナ海～日本の東にのびている。前線に向かって下層暖湿気が流入しているため、南西諸島や九州南部で大気の状態が不安定となっている所がある。このため、種子島・屋久島地方では猛烈な雨を解析。先島諸島付近でも雷を伴って、強い雨を解析。
- ② オホーツク海にトラフがあって東進。対応する低気圧が前線を伴いサハリン付近を東進。また、北日本に中心を持つ高気圧との間で気圧の傾きが大きくなっており、北海道地方では強い風が吹いている所がある。
- ③ 台風第20号が南シナ海を西進。南西諸島では台風第20号からのうねりの影響で波の高い所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の前線は、26日は東シナ海～本州南岸に停滞する見込み。前線に向かって下層暖湿気が流入するため、26日は南西諸島と九州南部及び伊豆諸島では、大気の状態が不安定となり、雷を伴って激しい雨の降る所がある。落雷や突風、急な強い雨に注意。九州南部ではこれまでの雨で地盤の緩んでいる所があり、少しの雨でも土砂災害の危険度が高くなるおそれがある。九州南部では26日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。
- ② 1項②の高気圧は、26日は日本の東へ移動し、2項①の前線との間で気圧の傾きが大きくなる。高気圧の周辺で吹送距離の長い東よりの強い風が吹くため、うねりを伴って波が高い所がある。27日にかけて、南西諸島及び西～東日本の太平洋側では、強風やうねりを伴った高波に注意。
- ③ 1項②の低気圧は、26日はオホーツク海を北東に進む。2項②の高気圧との間で気圧の傾きが大きい状態が続くため、北海道地方では引き続き26日は風が強く吹く所がある。強風に注意。
- ④ 27日夜までに、低気圧が沿海州から日本海北部に進み、前線が発生する見込み。低気圧や前線に向かって下層暖湿気が流入するため、大気の状態が不安定となる。27～28日は北日本では、落雷や突風、急な強い雨に注意。
- ⑤ 台風第20号は南シナ海を西進し、南西諸島から次第に遠ざかるが、26日はまだ先島諸島を中心にもうねりの影響が残り、波の高い所がある。南西諸島では26日は高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ①雨量(06時からの24時間)：伊豆諸島100mm。
- ②波浪(明日まで)：北海道・伊豆諸島・東海・近畿・四国・九州南部・奄美・沖縄3m。
- ③高潮(明日まで)：東日本で注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。